

小豆支部 活動報告

1 研究主題

生き抜く力を育むための
メディア教育の在り方

2 はじめに

ここ数年、学校においてはタブレット PC の導入が急速化し、その有効活用についても研究が進められている。先進校の研究発表会等においても、教師だけでなくすべての生徒がタブレット PC を手に学習を進める姿をよく目にするようになった。そのような中、小豆支部各校においても少しずつではあるが、タブレット PC の導入が進んできた。授業での活用についても試験的に進めつつある。また、平成 28 年度に控えている四国放送教育での研究発表に向けて、授業における放送番組の活用についても、研究の必要を迫られている。これらのことから、小豆支部では、タブレット PC 等の活用と放送番組の有効活用を研究することとなった。

3 研究計画

- (1) タブレット PC やコンピュータ等を活用した授業研究及び実技研修
- (2) 放送番組の効果的な活用について
- (3) 各校の研究内容についての情報交換

4 研究内容

(1) メディア機器を効果的に活用した授業実践 1

- ① 学年・教科
第 3 学年・英語科
- ② 題材
英語で料理
- ③ 使用機器
デジタル教科書、ノート PC、タブレット PC
- ④ 使用場面

デジタル教科書で、教科書に紹介されているお好み焼きのレシピの発音や単語等を教師とともに確認した後、タブレット PC を活用した学習を展開した。生徒がペアになり、教師が作成したレシピを正しい順序に並び替える作業をタブレット PC を使用して行った。生徒は、何度も順序を入れ替えながら、何の料理かを興味を持ち、考えることができていた。



〈デジタル教科書で学習している様子〉

(2) メディア機器を効果的に活用した授業実践 2

- ① 教科
技術・家庭科（家庭科分野）
- ② 学習内容
調理の手順、裁縫の手順、住居について、食品について
- ③ 使用機器
iPad、大型 TV（教室備え付け）
- ④ 使用場面
iPad で YouTube に接続し、裁縫の手順や調理の手順、地震が屋内に及ぼす危険など、実物をすぐに見て学べないような内容について、映像コンテンツを見ることで効果的に学習することができた。また、国内の各地域の住居の違いについて学習する際には、プレゼンテーション画面で写真を大きく提示し、その特徴が明確になるようにした。



〈合掌づくりの特徴のプレゼン画面〉



〈スナップ付けの YouTube 映像〉

(3) 放送番組を活用した授業実践

① 学年・教科

第2、3学年・理科

② 使用番組

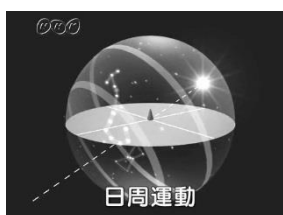
NHK for School

([http:// www.nhk.or.jp/school/](http://www.nhk.or.jp/school/))

星の日周運動、消化と吸収、静電気、
植物の細胞分裂など

③ 使用目的

映像コンテンツの長さが1～3分程度の短いものを採用して、生徒の集中力を高めたり、教員生徒間の発問・応答を活発にし、教材の双方向化を狙ったりすることに活用した。



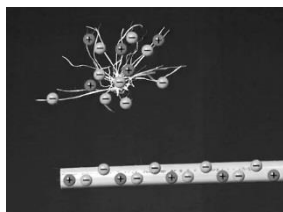
「星の日周運動」

教科書では平面的な天球だが、映像だと立体的でイメージしやすい。(1分)



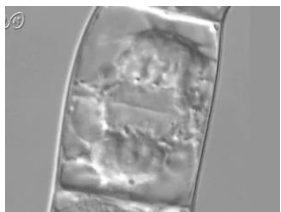
「消化と吸収」

消化と吸収のしくみを、実際の食べ物で確かめる実験。(2分)



「静電気」

発生した静電気をアニメーションでわかりやすく説明。(1分30秒)



「植物の細胞分裂」

映像だと細胞分裂が動いて進んでいく様子がわかる。(3分)

(4) 各校の状況

① 土庄町立土庄中学校

授業でインターネットに接続して活用できるPCはないが、iPad (タブレットPC) を活用している。インターネット上の映像コンテンツの利用や、写真や絵などの教材の提示などに活用している。ノートPCよりも持ち運びに便利なおうえ、作動に時間が

かからないことがその理由である。ただ1台しかないのも、教員間で使用したい時間が重なり使用できないこともあるのが課題である。今後、さらに数台導入を検討していきたい。

② 土庄町立豊島中学校

iPad を教員1人1台 (7台)、生徒1人1台 (8台) 整備し、授業で活用している。平成26・27年度ICT環境整備計画に基づいた実践を実施し、生徒の学ぶ意欲を喚起し確かな学力の定着や、教員の分かる授業に向けた授業改善の進展を図っている。すべての教科の授業において授業支援システム (ロイロノート・スクール) が活用でき、生徒にとって学びのスタイルとして定着してきている。

③ 小豆島町立小豆島中学校

グループ研修でICT機器を活用した授業研究を積極的に実施している。様々な活用方法を探ることで、生徒の興味・関心を高めたり、基礎学力の定着を進めたりする一助となった。ICT活用の授業研究には、毎回、教育センターの指導主事が来校し、討議にも参加してくださったので、研修の参考となった。

タブレットPCを活用する授業が増えてきているが、タブレットPCの準備や片付けに要する時間確保に課題が残る。また、同じ時間帯に使用できるタブレットPCの使用台数が決まっているので、その調整も必要である。

5 今後の課題

近年、スマートフォンをはじめ、タブレットPCなどの情報端末が急速に普及している。教育界でも、タブレットPCの有効活用について研究が進んできている。小豆支部においても、他に遅れをとりながらも、徐々にタブレットPCの導入が進められている。生徒の学力向上はもちろんのこと、ICT機器活用能力の向上も図っていかなくてはならない。このようなことから、小豆支部においても、研修や研究をさらに深めていく必要がある。先進校に続き、メリット・デメリットを把握しながら、タブレットPCの追加導入について検討を進め、授業における活用の幅を広げていけるようにしたい。

また、来年度に迫ってきている四国放送教育研究大会での発表に向け、実践を重ねながら研究を深めていかなければならない。